

三 弥 井 書 店

Miyaishoten



新刊・既刊書籍案内 2021.9

和歌文学会特別販売のご案内

価格：小社書籍全点が2割引き 送料 実費

お支払方法 郵便局＊ご注文書お届けの際払い込み用紙同封いたします

銀行振込 三井住友銀行三田通支店 当座 1025041

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

ファックス 03-3456-0346

ホームページからもご注文いただけます

右、QRコードを読み取りください



◇お願い

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 ご注文の際はいずれかに「和歌文学会特別販売分」とご明記ください。
- 4 本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。
- 5 新刊情報やイベント情報をツイートいたします。よろしかったらフォローしてください。

和歌文学会用特別販売注文書

2021 年 10 月 31 日まで

小社書籍全点が 2 割引となります。

本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。

右、QRコードを読み取りください



お申込み日： 年 月 日

書 名	本体価格	部 数

お名前

〒

T E L

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

東海道五十三次をよむ

鈴木健一 編 A5判・カバー装 288頁 定価：2800円＋税

温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど。日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。江戸文学のみに登場する五十三次の姿を追い、各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道など、旅するかのごとく訪れる。

目次

- | | |
|-------------------------|-------|
| 序 ようこそ、東海道の旅へ | 鈴木健一 |
| 第一章 江戸時代I (東京・神奈川) | |
| 日本橋の出立は朝が早い | 藤澤 茜 |
| 遊行寺の門前町藤沢宿とところどころ | 関原 彩 |
| 小田原のいろいろは何に効くのか？ | 古庄るい |
| 箱根、温泉と関所 | 壬生里巳 |
| コラム 五十三次さまざま 1 東京～神奈川 | |
| 第二章 江戸時代II (静岡・愛知) | |
| 石川丈山の富士山詩を読む | 鈴木健一 |
| 薩埵峠から富士山を望む | 田代一葉 |
| 名物「十団子」とは？ | 永田英理 |
| 御油宿、弥次さん喜多さんと狐 | 藤井史果 |
| コラム 五十三次さまざま 2 静岡～愛知 | |
| 第三章 江戸時代III (三重・滋賀・京都) | |
| 七里の渡し、どんな船旅だったのか？ | 大関 綾 |
| おかげ参りと抜け参り | 吉丸雄哉 |
| 難所鈴鹿峠越えを行く | 久岡明穂 |
| ついに三条大橋を渡った！ | 田中 仁 |
| コラム 五十三次さまざま 3 三重～滋賀～京都 | |
| 第四章 江戸時代以前・以後の東海道 | |
| 『伊勢物語』『東下り』 | 鈴木宏子 |
| 『更級日記』 | 千野裕子 |
| 『海道記』『十六夜日記』の海辺 | 毛利香奈子 |
| 岡本かの子「東海道五十三次」 | 赤井紀美 |

関連書籍

鳥獣虫魚の文学史 日本古典の自然観
1 獣の巻 2 鳥の巻 3 虫の巻 4 魚の巻 定価：各2800＋税

天空の文学史
1 太陽・月・星 2 雲・雪・風・雨 定価：各2800円＋税

海の文学史 定価：2800円＋税

浜辺の文学史 定価：2800円＋税

2020/10/30刊行

【編】鈴木健一



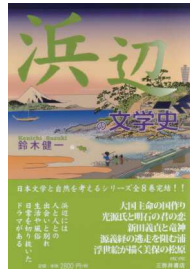
箱根の温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。

江戸文学のなかの五十三次。各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道はどんなふうに描かれたのか。ガイドブックとは異なる視点から知識を蓄え、江戸時代にタイムスリップした旅へと誘う。

定価：本体 2800 円＋税

三弥井書店

ISBN978-4-8382-3374-8



大和言葉集

伝承文学注釈叢書 3

徳田和夫・菊地仁・小林健二 編著 A5判・242頁 定価：7500円＋税

大和言葉とは、古歌から生成した恋の文句や、宮中での女房詞をいう。また、そこに遊戯的に派生した謎かけの文辞も含むものである。室町後期のお伽草子や、江戸初期の説経浄瑠璃にその用例を多く見る。かかる題の辞書も編まれ、類例が民間にも伝わってきた。

ここに解説と事例集を掲げ、代表的な一本を翻刻し、注釈をほどこした。付録編に他本翻刻、証歌・事項索引、関係論文・研究書目録を配した。以て、伝承文学の一斑とした。

内容目次

恋のことばと謎かけ―「大和言葉」導き―

お伽草子・語り物にみる大和言葉・謎かけ事例集

底本書誌 付、参考A・B・C本略書誌 小林健二

『大和言葉』翻刻・注釈・補注

主筆 菊地仁 共同討議 徳田和夫・小林健二

・凡例

・翻刻・注釈・補注

・引用文献一覧

付録編

・A本（近世初期写本、一冊）翻刻

・B本（近世初期写本、一帖）翻刻

・底本・A本・B本 証歌索引

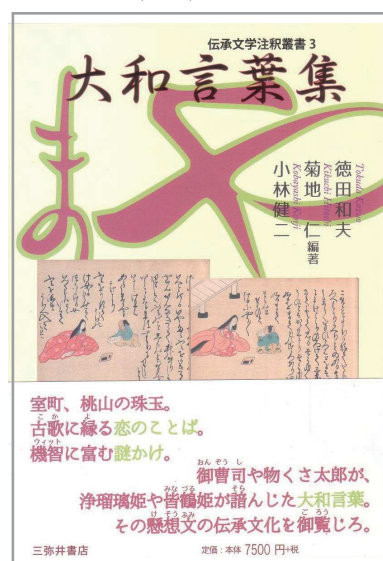
・底本 項目索引

・『大和言葉』複製・翻刻・関係論文・研究書 目録

徳田 和夫

徳田 和夫

2020/11/12 発行



ISBN978-4-8382-3373-1

伝承文学注釈叢書 2

豊後節系 浄瑠璃集

安田文吉・安田徳子 校注

A5判・242頁 定価：7500円＋税

浄瑠璃の段物や歌舞伎の道行、景事を語り、多彩で変化に富み、リズムミカルな拍子と印象的な旋律で歌舞伎の中で高揚した一局面を担った。底本には最古本を選び、翻刻本文は詞章のみならず、ルビ・文字譜等可能な限り原本の再現を試みる。注釈は音楽性の高い本資料を鑑み、語句および語り口や曲節・文字譜について施す。

2020/6/17 発行



ISBN978-4-8382-3368-7

予章記

伝承文学注釈叢書 1

佐伯真一・山内譲 校注

A5判・266頁 定価：5800円＋税

伊予の『古事記』であり、『平家物語』であり、そして室町の現代史である。伊予中世史研究の基本文献。記紀的神話伝承や文書・文献の引用、創作などが混然一体となった河野氏の歴史叙述の方法に伝承の可能性を見出す。

2016/10/12 発行



ISBN978-4-8382-3306-9

シリーズ続巻書目一覧

説教才学抄／筆結物語・十二類絵巻／神道集／医談抄・医家千字文注◆他

城郭の怪異

二本松康宏・中根千絵 編著

A5判・カバー装 222頁

定価：2750円本体：2500円

滅んだ城、滅んだ領主、滅んだ地主神への土地の人々の哀惜の念が宿る城郭の怪異。不思議な怪談や奇譚を伝える東西10の城を、歴史学と伝承学から見渡し、怪異の生成や伝承の背景を紹介する。歴史の裏に埋もれた城にまつわる「闇」の魅力が明らかにされる。

2021/6/24発行

目次

城郭の怪異を訪ねて◇二本松康宏

会津若松城—怪異が導いた創建伝説 ◇小田倉仁志

駿府城—謡の呪いと狐、狸、封の怪 ◇中根千絵

浜松城から江戸城へ—徳川将軍家の闇 ◇堤 邦彦

松本城—二十六夜神の神秘 ◇二本松康宏

名古屋城—見守る櫓と天狗と狐たち ◇林 順子

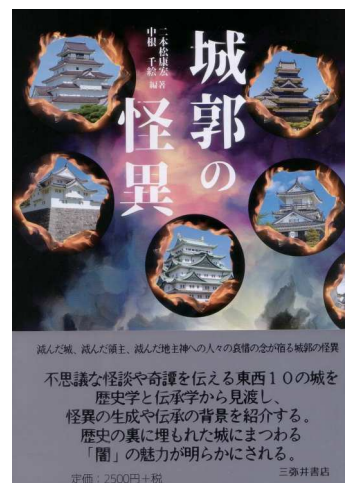
伏見城—落城の記憶と血天井 ◇久留島 元

大阪城—豊臣家の怨霊 ◇北川 央

姫路城—変遷するオサカベ ◇三宅宏幸

松江城—伝説をつなぐ祈祷櫓 ◇菊池庸介

松山城—蒲生家の断絶と残された景色 ◇南郷晃子



ISBN978-4-8382-3384-7

疫病と日本文学

日比嘉高 編

46判・カバー装 254頁

定価：2750円本体：2500円

個々の作品や各時代の分析を行い、総体的に歴史の変遷を中古から現代に至る千年のスパンで明らかにする。文芸の言葉が見えない疫病を「可視化」し、時代の中で疫病がもたらした社会変動と人の心や感性への影響がいかなるものだったのか個々の作品を通じてうかびあがらせる。

目次

はじめに 疫病と日本文学—千年の表現史を追う [日比嘉高]

■疫病の今をよむ

パンデミック小説の地図を書く [日比嘉高]

コラム 生き延びていくために

—金原ひとみ「アンソール ディスタンス」と「腹を空かせた勇者ども」 [飯田 祐子]

俳句と疫病—コレラとコロナウィルスの句を読む [藤田 祐史]

コラム 疫病と日本語 [宮地 朝子]

鬼は「そこ」にいる、しかし「それ」は遍在する—疫病とエクリチュールと [高木 信]

コラム 隠喩としての「戦争」、隠喩としての「埋葬」

—閻連科と方方の文学から疫病を考える [尹 芷汐]

■疫病をふりかえる

人喰い鬼と疫病神—「大正」を襲った「流行感冒」 [島村 輝]

コラム 伝記にみる医師とコレラ [榊原 千鶴]

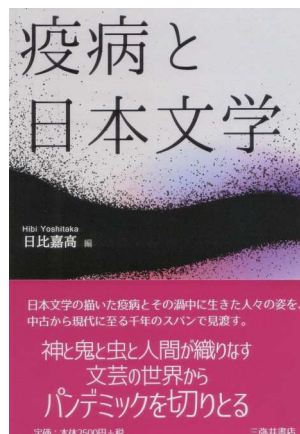
中世説話の「心」をもつ病—『今昔物語集』を中心に [中根 千絵]

コラム 疫病を表象する信仰の文学瞥見 [近本 謙介]

コロナとコロリ—幕末の江戸災厄体験記の奇書『後昔安全録』とその著者について [塩村 耕]

王朝文学における疫病 [大井田晴彦]

2021/7/15発行



ISBN978-4-8382-3383-0

中世奥羽の自己認識

入間田宣夫著 46/ 上製本・定価 3300 円《本体 3000 円》

中世奥羽の言説空間に生きる人びとが京・鎌倉発の圧倒的な文化的影響に向き合う中でいかに自前の系譜認識をかたちづくり、自らのアイデンティティを築き上げたのか。平泉藤原・津軽安藤（東）・伊達・和賀・閉伊・大江・柏山・戸沢・津軽ほか人々の換骨奪胎、反転・逆転のいとなみを明らかにする。

目次

- I 京・鎌倉の西南風が吹きよせるなかで
 - 1 章 中世奥羽における系譜認識の形成と在地社会
 - 2 章 『新羅之記録』を脱構築する—中世北方史の見直しによせて—
- II 語りものの文学から歴史学へ
 - 3 章 奥羽諸大名家における系譜認識の形成と変容
 - 4 章 津軽一統志における系譜認識の交錯
- III 人から神へ—本地物語における基本的なプロットについて—
 - 5 章 岩木山と花若殿・安寿姫の物語
 - 6 章 岩木山の祭神をめぐる研究史を振りかえって
 - 7 章 鹿角四頭と五の宮の物語
 - 8 章 塩竈大明神の御本地
 - (付論) 菅江真澄の流儀
- IV 平泉伝説のゆくえ
 - 9 章 伊達の平泉伝説
 - 10 章 小萩観音の霊験譚と奥州国分荘の歴史学
 - 11 章 平泉の姫宮と衣河殿—二人の謎の女性の物語—
- V 北方海域における境界儀礼と在地信仰の風景
 - 12 章 人魚供養札の背景に
 - 13 章 千葉大王御子の物語によせて

2021/7/9発行



ISBN978-4-8382-3385-4

歴史のなかの音

音がつなぐ日本人の感性

笹本正治著 46/ 並製本・定価 3080 円《本体 2800 円》

歴史の場で打ち鳴らす、戦乱の世に響き渡る人間が生み出す音。神の動き、異変や事件を伝える人間が作り出すことの出来ない音。

日本の歴史において音にはどのような意味と目的があったのか。中世から近・現代まで時代や地域に流れる豊かな音の世界を往来する。

目次

- 第一章 音への視点
 - 神社の鈴と仏壇のキン—身辺から考える過去と現在
 - 「伝える」手段としての音—戦国時代を中心にして—
- 第二章 鳴動と中世の音
 - 神と人をつなぐ音—中世の音と声—
 - 中世の音を探る—神出現の音を求めて—
 - 中世の一族意識と村—釜井庵と夜泣石—
- 第三章 変化する音への意識
 - 中世の音・近世の音
 - 文学と音—島崎藤村『破壊』から—
 - 高野辰之の唱歌と音—地域の歴史と伝えるべきこと—

2021/7/2発行



ISBN978-4-8382-3387-8

伊勢物語 現代語訳・索引付

大井田晴彦 校注

A5判・上製・335頁 定価：本体4500円＋税

日本文学史上、最も親しまれてきた古典作品の一つである『伊勢物語』。文学のみならず、美術、芸能など、さまざまな領域に多大な影響を与えてきた。

現代語訳：本文に忠実であるだけでなく本文と現代語訳を上下に配し適宜語句を補い、単独でも味読できる形式を工夫。

語釈・補注：語義・文章表現・和歌の他出・典拠・時代背景・人物考証など、本文理解に必要な事項について説明。

鑑賞：各段の特徴や魅力について、いっそう理解を深めるべく、より踏み込んだ読解を試みる。

解説：『伊勢物語』の全体像や文学史的意義、在原業平の人物像など、本質的かつ重要な問題について示す。

2019/10/11刊行

伊勢物語

現代語訳・索引付

大井田晴彦 Haruhiko Oda 校注



みやびの諸相・うたの力

春日野の若葉、万葉、八橋、都鳥、筒井橋、花柳の春、夢あうつつか、交野の夜、さらぬ別れ、ついにゆく道

和歌が動き出す125の物語

丁部は増訂版と異なり、底本ではあるが増訂版の力を借り、より正確な現代語訳へ改題し、

3巻 4500円＋税 三井書店

ISBN978-4-8382-3356-4

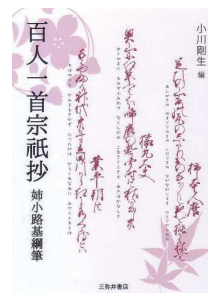
百人一首宗祇抄 姉小路基綱筆

小川剛生 著 A5判・カバー装 定価：1200円＋税

連歌師宗祇が東常縁の教えを受けまとめた注釈書。百人一首最初の注釈書の中でも最古写本の一つとして古典研究に史上きわめて有益な資料。慶應義塾大学ス道文庫本。

ISBN978-4-8382-3335-9

2018/4発行



皇后になるということ

美子と明治と教育と

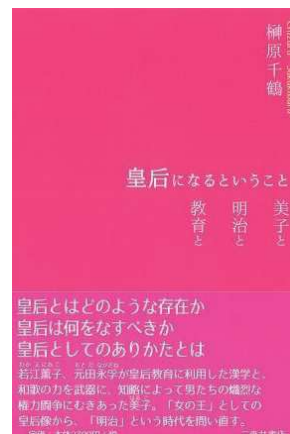
榎原千鶴著

46判・カバー装・240頁

定価：本体2300円＋税

国家権力に最も近く、明治期の女性教育において先導的役割を担った皇后美子を通して明治初期の教育の一端にアプローチする。美子になされた皇后教育と、美子が女性教育に果たした役割を考え、イメージで語られがちな「明治の精神」の内実を問う。

2019/12/18刊行



内容案内

第一章 天皇のために！ 問われる覚悟

第二章 ふたりの指導者と「嫉妬はするな」の教え

第三章 武器としての学問

第四章 国民への道德教育『明治孝節録』

第五章 新しい時代の模範的女性像『婦女鑑』

ISBN978-4-8382-3357-1

昔物語治聞集

中根千絵・加美甲多・久留島元 編著

A5判・並製・196頁 定価：本体2700円＋税

貞享元年(1684)に出版された説話集。内容は『宇治拾遺物語』と『古今著聞集』から説話を抽出し編纂しなおしたもの。元禄14(1701)年板『昔物語治聞集』刊本6巻7冊(東北大学附属図書館「狩野文庫」)を底本とする。江戸時代初期に流行した軍記物語の登場人物や物、身近な古社の由来、『和漢朗詠集』などの文化的教養を面白く取り入れられることをもくろんで編纂されたと思われる。近世における、説話への興味・関心、連想の在り方をうかがい知る重要な書物の翻刻本文と全ての挿絵を公開する。

目次

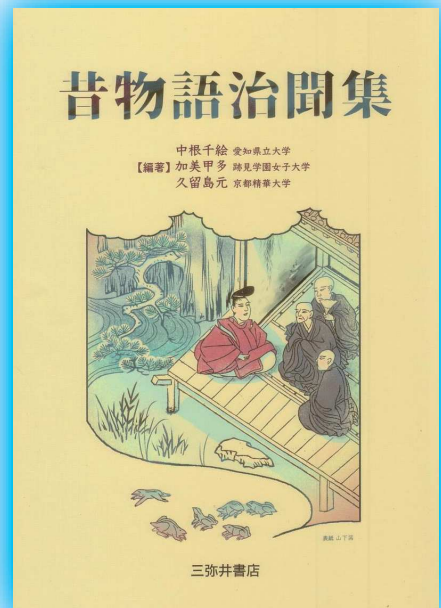
凡例／まえがき／解説／序から巻7／あとがき

1例：巻1目録

目録

- 第一 上総守時重日吉の神感に預る事(聞7)
- 第二 水無瀬山の池人との事(聞603)
- 第三 哥の徳により風波の難をのがれし事(聞165)
- 第四 陽成院ばけものゝ事(治158)
- 第五 広貴妻の訴により閻魔王宮へめさるゝ事(治83)
- 第六 ぬすびと薺策を感じる事(聞429)
- 第七 武徳殿ばけものゝ事(聞589)
- 第八 修行者百鬼夜行にあふ事(治17)
- 第九 三河といふ童発心の事(聞323)
- 第十 法花経聴聞する猿の事(聞680)
- 第十一 双六の口論にて人をころす事(聞504)
- 第十二 あづま人生賛をとゞむる事(治119)
- 第十三 山門の僧鬼になる事(聞495)
- 第十四 絵仏師家の焼るをみてよろこぶ事(治38)
- 第十五 蛇針におそれし事(聞694)
- 第十六 浄蔵法師前生の屍にあふ事(聞46)
- 第十七 御堂関白殿の犬晴明等きとくの事(治184)
- 第十八 雲客ふな岡にゆきて虫ふく事(聞587)
- 第十九 清水寺の額彩色て不思議ある事(聞290)
- 第二十 春日の御告にて伊房額を書事(聞293)
- 第二十一 高野大師を五筆和尚といふ事(聞293)
- 第二十二 虎の鰐をとる事(治39)
- 第二十三 道命阿闍梨いづみ式部の許にて読経五条の天神聴聞の事(治1)
- 第二十四 空也上人念仏すゝめ給ふ事(聞47)
- 第二十五 同き上人の臂観音院僧正いのり直す事(治142)

2020/10/8 刊行



ISBN978-4-8382-3371-7

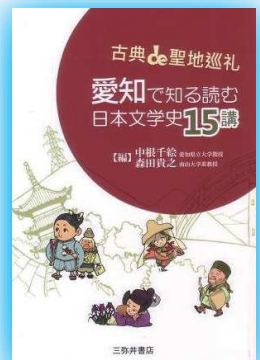
改訂版 愛知で知る読む日本文学史15講 古典で聖地巡礼

中根千絵・森田貴之 編

46判・216頁・定価：1800円＋税

【目次】

- 第一講 熱田 『日本書紀』／第二講 引馬野 『万葉集』／第三講 古渡 『日本霊異記』／第四講 八橋 『伊勢物語』
- 第五講 国府 『古今著聞集』／第六講 犬頭神社(三河) 『今昔物語集』／第七講 兎足神社 『宇治拾遺物語』
- 第八講 野間 『平治物語』／第九講 阿波手の杜 謡曲『反魂香(不逢森)』／第十講 津島 狂言『千鳥』
- 第十一講 甚目寺 室町物語『姥皮』／第十二講 矢作 古浄瑠璃『浄瑠璃御前物語』／第十三講 伊良湖岬 『笈の小文』
- 第十四講 清洲 『絵本太閤記』／第十五講 有松・鳴海・笠寺 『東海道中膝栗毛』



好評二刷り出来

神楽の中世

—— 宗教芸能の地平へ

山本ひろ子・松尾恒一・福田晃 編

A5判・上製カバー装 392頁

定価：7480円本体：6800円

ダイナミズムと生命力が躍動する神楽の場をよみがえらせ神楽研究の壁を破る。神楽の迷宮に「宗教芸能」としての道筋を貫く。神楽と称される列島各地行事・祭りから、興味深く、かつ重要と思われる用語を選び考察を加えた「神楽詞華集」。豊潤な神楽の世界へ道しるべとしての試みが今始まる。

目次

2021/6/24発売 5/25発行

◆提題に代えて◆

よみがえる中世の神事たち—備中吉備津宮の祭礼（山本ひろ子）

プロローグ／備中一宮・吉備津宮へ／吉備津宮の年中行事（上）／吉備津宮の年中行事（下）／遷宮と神事芸能／エピローグ

◆神楽の成立とその歴史◆

佐陀神能をめぐる宗教者と祭祀—神能成立の過程を中心に（岡 宏三）

問題の所在／中世佐陀大社・神主家の特質と祭礼、芸能／室町期における佐陀大社と神楽／検校吉岡氏の禰宜職宮川氏の台頭／高宮社の主張と佐陀神能の成立

神子と修験—黒森神楽をめぐる（神田より子）

はじめに／一 中世への視座／二 近世期の神子、修験そして神楽／三 修験と神楽／四 訴訟から見えてくるもの／五 神子の活動／まとめ

◆神楽の庭へ◆

法者神楽の法脈—甲賀・油日神社、対馬・八幡宮、豊後・杵原八幡宮（福田 晃）

はじめに／一 近江、甲賀郡総社「油日神社」／二 対馬・一宮の「八幡宮」／三 豊後・一宮の「杵原八幡宮」／おわりに—叡山穴太流と両部神道流神楽

天龍川水系の神楽—オコナイと霜月祭から（櫻井弘人）

一 中世的な芸能の宝庫／二 霜月神楽の季節・日時・時刻／三 湯立／四 面形舞とシズメ／五 祭りの意味づけと数／六 霜月神楽と立願／おわりに

◆神楽の担い手たち—法者と呪師◆

両部神道と神楽 | 「法者」の伝承を辿る（福田 晃）

はじめに—西日本における「法者」の伝承／一 両部神道の誕生／二 両部神道流神楽の成立／おわりに—両部神道と諸国一宮

呪師の芸能と神楽—備前一宮祭礼を中心に（宮嶋隆輔）

はじめに／備前一宮祭礼と郷村祭礼／一宮・御田植神事の御幡行列と伝供／神子・楽頭による御神楽と神主の祈念／呪師走りと反閤について／王の舞と呪師芸能／かいなさしについて／備前一宮・御田植神事の特徴／在郷の神子・法者による神楽／一宮の神子・楽頭の性格／遷宮出仕と反閤／〈一宮の呪師〉と神楽

◆宗教芸能としての神楽◆

「鐘巻」のドラマトゥルギー—能と早池峰神楽をめぐる（山本ひろ子）

はじめに—『法華験記』と『今昔物語』の道成寺説話／Ⅰ 「道成寺縁起」と能「道成寺」／Ⅱ 早池峰神楽「鐘巻」の芸能的達成

仮面の呪術・祭祀・芸能としての神楽へ（松尾恒一）

一 世阿弥の猿楽能神楽起源説／二 寺院の儀礼、芸能の猿楽能／三 魑魅魍魎を鎮める宗教儀礼／四 神楽における鎮めの呪法／五 世阿弥の猿楽能神楽起源説、再考／六 唐代の仏教儀礼、仏菩薩への祈願と民俗神の祭祀

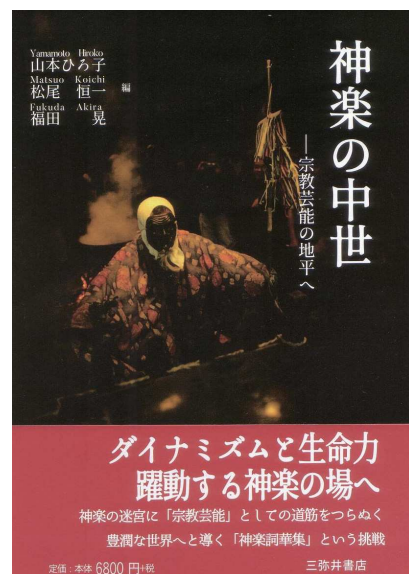
◆研究展望◆

神楽研究の再構築へ向けて（鈴木正崇）

はじめに／一 鎮魂とは何か／二 鎮魂の近代／三 鎮魂と神楽／四 近代における神楽の創出／五 中世神楽をめぐる諸問題／六 浄土神楽をめぐる／七 『神楽源流考』への疑義／八 再び中世神楽へ／九 死者供養の神楽／十 神楽研究の可能性

◆神楽詞華集 小さなキーワード集の試み◆

一 霜月神楽からおくなく／二 西国の神楽から／三 舞殿と装置／四 儀礼と呪法／五 土地の精霊と異神たち



ISBN978-4-8382-3386-1

絵解く 戦国の芸能と絵画 描かれた語り物の世界

小林健二 編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円＋税

室町後期に語り物芸能として愛された幸若舞曲。16世紀末には絵巻や絵本などの絵入り物語として広く享受された。

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。

未紹介資料として、個人蔵『源義経一代記図屏風』、手銭記念館蔵『烏帽子折物語絵巻貼付屏風』を収録。巻末に「幸若舞曲絵入本一覧」を付す

内容案内

2020/3/19刊行

◆序論 描かれた語り物の世界

『源義経一代図屏風』を読む 小林健二

手銭記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 糸汐里

◆平家物語図扇面画帖を読む

海に見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について

―場面解釈と本文離れをめぐる検討― 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について

―海に見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」を中心に― 龍澤彩

◆幸若舞曲・古浄瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって―附『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介― 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》―分析と分類― 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作

―「大織冠」と「敦盛」を例として― 恋田知子

風俗表現と物語絵―『むらまつ』の場合― 齋藤真麻理

◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

FAX 03-3456-0346

ご注文数
冊

貴店印

送り先・書類の宛先

私費 公費 いずれか〇を付けてください

幸若舞の展開 芸能伝承の諸相

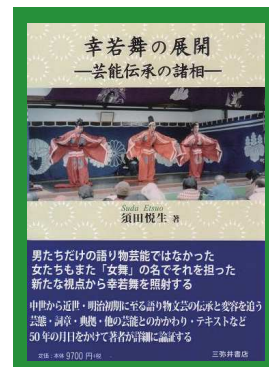
須田悦生著 A5判・カバー装・388頁 定価：9700円＋税

中世から近世・明治初期に至る語り物文芸の伝承と変容を、芸態・詞章・典拠・他の芸能とのかかわり・テキストを詳細に紐解き、新たな視点から照射する。

内容案内

- 第1章 幸若舞の形成／第2章 幸若舞芸能集団の活動／
第3章 幸若舞作品の構成／第4章 『平家物語』と幸若舞作品／
第5章 『曾我物語』と幸若舞作品／第6章 戦国軍記と幸若舞／
第7章 古浄瑠璃等と幸若舞／第8章 「女舞」と幸若舞の変容／
第9章 甲斐で書写された幸若舞テキスト
第10章 キリシタン資料と幸若舞テキスト
索引（曲名・項目名）

2018/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3342-7

在外絵入り本 研究と目録

山下(高橋) 則子編

B5判・上製・388頁 定価：本体13800円＋税

近世絵入り本を多数収録する、在伊古典籍目録を厳密に作成し、近世絵入り本研究進展のためのツールである。さらに在外稀覯本を利用した先進的研究論考7本を付載し、海外に所蔵される絵入り本の研究上の有意性を示した。

内容案内

序（ロバートキャンベル）

はじめに（山下則子）

第一部 ホノルル美術館（リチャード・レインコレクション）

等に所蔵される在外絵入本—善本の紹介と考察—

◇絵入折手本（浅野秀剛）

◇『たまひろひ』と『山城名勝風月集』、そして『都名所画譜』（伊藤善隆）

◇桃隣舎文辰著『池西言水四季独吟評釈』について（伊藤善隆）

◇ホノルル美術館蔵黄表紙『積孝雪振袖』（『敵討政五郎話』）影印・翻刻（二又淳）

◇レインコレクション『獣絵本つくし』の研究（山下則子）

◇ボストン美術館蔵、北斎筆、未刊読本挿絵『大日本将軍記初輯』について（浅野秀剛）

◇マリオ・マレガ文庫蔵黒本『眉間尺』（山下則子）

第二部 在伊日本古典籍—目録と解題—

◇サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録

◇「サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録」補遺 碑文谷教会旧蔵書目録

◇ヴェネチア東洋美術館所蔵日本書籍及び関連資料目録

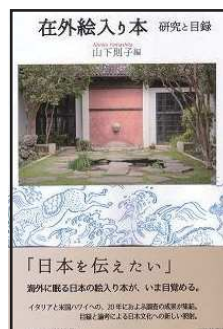
◇ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫所蔵日本古典籍目録

◇ジェノヴァ市キオッソーネ東洋美術館 善本解題・目録

◇在伊日本古典籍目録初出雑誌一覧

◇在伊日本古典籍目録 索引

2019/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3355-7

室町物語の形象

怪奇ロマンとユーモア

沢井耐三 著

A5判・上製・374頁 定価：本体8800円＋税

妖怪や本地物、異類婚など様々な「怪奇」と、常識はずれや誇張、言葉遊び、風刺などの辛辣でブラックな「笑い」を軸に、豊饒、多岐な室町のお伽草子世界の魅力に迫る。

目次

2020/1/10 刊行

第Ⅰ章 怪奇と風雅の間

『うたたねの草子』—二人同夢の怪異と浮舟残像—

『鼠草紙』—人獣交姦の悲劇、隠された身上書—

『浅間の本地』—さまよえる物語の中世・近世—

第Ⅱ章 説話的空間

『狐の草子』—狐媚と賀陽良藤説話—

『幻夢物語』—稚児の敵討と枯骨報恩説話—

大阪市立美術館蔵 『化物草紙』—絵画化された『今昔物語集』の怪奇説話—

『音なし草紙』再論 —親王とは誰か？ 教訓か、艶笑か—

第Ⅲ章 異類の小宇宙

『ふくろふ』—艶書における謎々とレトリック—

フクロウ物語の系譜

—『鴉鷺合戦物語』・『ふくろうの草子』・『あだ物語』—

『鼠猫論』—猫と鼠、火花散らす論争—

『医文車輪書』—戦国武将の医術とユーモア—

『鴉鷺合戦物語』—空想と風刺のいくさ物語—

『精進魚類物語』—流布本再評価・山科言継本の周辺—

第Ⅳ章 歴史と文学の間

『見聞諸家紋』編者考 —「石井康長」という人物について—

『家忠日記』の戯画 —撃鬻救児図・文字絵の人丸ほか—

物売りの呼び声 —「菜かう」「菜さう」「菜かはう」—

『永正五年狂歌合』注解 —困窮する公家たちの自嘲のうた—

第Ⅴ章 資料翻刻

大阪市立美術館蔵『化物草紙』

『鳥物語』（『ふくろふ』）

『浅間由来記』（『浅間の本地』） 架蔵

『武田実記』愛知県新城市・鳳来寺蔵



ISBN978-4-8382-3358-8



室町物語研究 絵巻・絵本への文学的アプローチ

沢井耐三 著

A5判・390頁・定価：8400円＋税

成立・読者層の異なる短編の物語作品を丁寧に読み解き、物語世界に表現される中世の思想や民俗・文化、人々の生活の様相を垣間見る。

室町物語と古俳諧 室町の「知」の行方

沢井耐三 著

A5判・470頁・定価：10000円＋税

中世、室町時代に生まれた知的な「笑いの文学」世界を探究する、室町末期の下克上の価値観を反映して生まれた俳諧文学の系譜を、『和漢狂句』から貞徳俳諧初期に探る。巻末には初の『筆結の物語』全文翻刻をはじめ四種の翻刻資料を収載。

日本幽霊画紀行

死者図像の物語と民俗

堤 邦彦 著 A5判・カバー装・246頁 定価：2800円＋税

夏のお盆の一日、たまたま訪れた古寺の本堂の掛かっていた幽霊画を目にする。無名の画家の作品であっても死者を迎える盆の空間に融け込み、異彩を放つ幽霊画の存在感。その源泉には、絵をめぐる幽霊済度の物語や、掛け幅自体を雨乞いの呪物に使った仏教民俗の歴史が潜む。

本書は美術史の見方を離れて、幽霊画の物語と民俗を追いかける。東北から九州に及ぶ各地のお寺が所蔵する隠れた名品を取り上げ150点のカラー図版と合わせて解説する。死してなお子を育てる「子育て幽霊図」、魔除けになった血みどろの「うわなりうち図」、伝円山応挙の絵をめぐる講談の世界など。

内容案内

第一章 寺と幽霊画

I 高僧絵伝から幽霊画へ―死者救済の思想と図像化―

コラム1 東南アジアの幽霊女房

II 子抱き幽霊図の原風景―産死供養の図像―

III 円山応挙伝説考―幽霊画をめぐる「物語」の成立―

コラム2 青楼の絵師・祇園井特

第二章 血族の証明

I 幽霊画の秘密―金沢・鶴林寺―

II 失われた絵の帰還―会津美里町松沢寺―

III 奥州四十九院家の記憶

コラム3 幽霊の交情

第三章 寺蔵幽霊画を巡る旅

I みちのく幽霊画紀行―呪具としての死者図像―

コラム4 絵師のユーモア・自像幽霊画

II 幽霊画のまち―弘前市禅林街―

III 御用絵師の女霊救済

IV 薄幸の女霊図―丹後夕日ヶ浦―

V 「産女の幽霊」を祀る―長崎光源寺―

コラム5 災害と幽霊画

第四章 幽霊画と江戸怪談

江戸はなぜ女霊の時代となったのか―後妻打ち怪談をてがかりとして―

2020/9/10刊行



ISBN978-4-8382-3372-4

関連書籍

江戸の高僧伝説 2800円
異界百夜語り 1800円
俗化する宗教表象と明治時代
―縁起・絵伝・怪異―2800円

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

送り先・書類の宛先

●条件●注文

返品条件付 FAX 03-3456-0346

日本幽霊画紀行

江戸の高僧伝説

異界百夜語り

俗化する宗教表象と明治時代

ご注文数

冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

三弥井書店 注文リスト全点2割引

108-0073 東京都港区三田3-2-39

※注文欄に注文数をご記入下さい。(価格は税別)

各書目の詳細はホームページで御確認いただけます。ご注文は同封のハガキか右記までファックス、メール、お電話ください。ホームページからもご注文いただけます。別途送料。

Tel03-3452-8069 Fax03-3456-0346

E-Mail : publish@miyaishoten.co.jp

シリーズ名	書名	本体価格	著者・編者名	判型	注文数
遊歴雑記セット	遊歴雑記	58,252	大島建彦	B 5	
中世の文学	歌論集(1)	7,500			
中世の文学	連歌論集(1)	6,000			
中世の文学	連歌論集(2)	8,738			
中世の文学	連歌論集(3)	7,500	木藤才蔵	A 5	
中世の文学	連歌論集(4)	7,800	木藤才蔵	A 5	
中世の文学	三国伝記(上)	8,500	池上洵一	A 5	
中世の文学	三国伝記(下)	8,500			
中世の文学	拾遺愚草古注(上)	6,310	石川常彦	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(2)	6,000	松尾葦江	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(3)	6,300	黒田彰	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(4)	5,800	美濃部重克	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(5)	6,000	松尾葦江	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(6)	6,300	美濃部重克	A 5	
中世の文学	源平盛衰記(7)	6,300	久保田淳	A 5	
中世の文学	早歌全詞集	7,600	外村久江	A 5	
中世の文学	新古今増抄(一)	7,200	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(二)	7,800	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(三)	7,800	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(四)	7,800	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(五)	7,800	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(六)	7,800	大坪利絹	A 5	
中世の文学	新古今増抄(七)	12,000	大坪利絹	A 5	
中世の文学	月庵醉醒記(上)	6,500	服部幸造	A 5	
中世の文学	月庵醉醒記(中)	7,300	服部幸造	A 5	
中世の文学	月庵醉醒記(下)	7,300	服部幸造	A 5	
中世の文学	平治物語	9,800	山下宏明	A 5	
中世の文学	校訂 中院本 平家物語(上)	7,800	今井正之助	A 5	
中世の文学	校訂 中院本 平家物語(下)	7,800	今井正之助	A 5	
伝承文学資料集成	神道縁起物語(二)	8,800	大島由紀夫	A 5	
伝承文学資料集成	奥浄瑠璃集成(一)	8,500	福田晃	A 5	
伝承文学資料集成	近世咄本集	6,500		A 5	
伝承文学資料集成	宗祖高僧絵伝集	7,670	渡邊昭五	A 5	
伝承文学資料集成	医説	9,000	福田安典	A 5	
伝承文学資料集成	女訓抄	8,800	美濃部重克	A 5	
伝承文学資料集成	宮崎県日南地域盲僧資料集	8,800	高松敬吉	A 5	
伝承文学資料集成	医談抄	8,800	美濃部重克	A 5	
伝承文学資料集成	肥後・琵琶語り集	8,800	野村真智子	A 5	
講座日本の伝承文学(1)	伝承文学とは何か	4,368	福田晃	A 5	
講座日本の伝承文学(2)	韻文文学〈歌〉の世界	5,335	真鍋昌弘	A 5	
講座日本の伝承文学(3)	散文文学〈物語〉の世界	5,335	美濃部重克	A 5	
講座日本の伝承文学(4)	散文文学〈説話〉の世界	5,335	江本裕	A 5	
講座日本の伝承文学(5)	宗教伝承の世界	5,500	福田晃	A 5	
講座日本の伝承文学(6)	芸能伝承の世界	5,500			
講座日本の伝承文学(7)	在地伝承の世界【東日本】	5,800			
講座日本の伝承文学(8)	在地伝承の世界【西日本】	5,800	岩瀬博	A 5	
講座日本の伝承文学(9)	口頭伝承(トナリ・ウタ・ワガ)の世界	6,800	福田晃	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(1)	8,252	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(2)	9,500	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(3)	8,800	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(4)	9,000	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(5)	9,000	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(6)	9,000	吾郷寅之進	A 5	
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(7)	9,000	吾郷寅之進	A 5	

幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(8)	9,514	福田晃	A 5
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(9)	9,514	福田晃	A 5
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究(10)	10,485	福田晃	A 5
幸若舞曲研究	幸若舞曲研究 別巻	9,800	福田晃	A 5
三弥井研究叢書	空町藝能史論	13,592	徳江元正	A 5
三弥井研究叢書	平家物語八坂系諸本の研究	8,641	山下宏明	A 5
三弥井研究叢書	山陰の口承文芸論	8,900	酒井重美	A 5
三弥井研究叢書	連歌新式の研究	16,000	木藤才蔵	A 5
三弥井研究叢書	能の主題と役造型	9,800	西村聡	A 5
三弥井研究叢書	今昔物語集の表現と背景	9,500	中根千絵	A 5
三弥井研究叢書	江戸時代学芸史論考	8,500	白石良夫	A 5
三弥井研究叢書	本地物語の比較研究	9,800	金賛曾	A 5
三弥井研究叢書	中世劇文学の研究	15,000	小林健二	A 5
三弥井研究叢書	肥後の琵琶師	5,800	安田宗生	A 5
三弥井研究叢書	語り物文学叢説	9,800	服部幸造	A 5
三弥井研究叢書	八幡愚童訓諸本研究	13,000	小野尚志	A 5
三弥井研究叢書	落窪物語の変容	9,800	石川透	A 5
三弥井研究叢書	鎌倉室町文学論纂	18,000	石川透	A 5
三弥井研究叢書	曾我物語の成立	16,000	福田晃	A 5
三弥井研究叢書	太平記 創造と成長	12,000	長谷川端	A 5
三弥井研究叢書	いくさ物語と源氏将軍	9,800	山下宏明	A 5
三弥井研究叢書	一四巻本地蔵菩薩霊験記(上)	13,000	大島建彦	A 5
三弥井研究叢書	一四巻本地蔵菩薩霊験記(下)	15,000	大島建彦	A 5
三弥井研究叢書	比叡山仏教説話研究	12,000	松田宣史	A 5
三弥井研究叢書	呪符の文化史	5,800	山里純一	A 5
三弥井研究叢書	日本の昔話と伝説	8,800	大島健彦	A 5
三弥井研究叢書	古代文学と琉球説話	6,500	丸山顕徳	A 5
三弥井研究叢書	早歌の心情と表現	15,000	外村南都子	A 5
三弥井研究叢書	酒呑童子絵を読む	3,800	美濃部重克	A 5
三弥井研究叢書	日本における外国昔話の受容と変容	7,980	久保華誉	A 5
三弥井研究叢書	越後 女唄集	18,000	板垣俊一	A 5
三弥井研究叢書	曾我物語の基層と風土	7,800	二本松康宏	A 5
三弥井研究叢書	奈良絵本・絵巻の展開	7,000	石川透	A 5
三弥井研究叢書	神語りの誕生	9,800	福田晃	A 5
三弥井研究叢書	能楽演出の歴史的研究	7,980	岩崎雅彦	A 5
三弥井研究叢書	中世宗教文学の構造と表現	9,800	村上學	A 5
三弥井研究叢書	室町戦国期の文芸とその展開	8,000	伊藤慎吾	A 5
三弥井研究叢書	蒲原タツエ の語る843話	21,000	宮地武彦	A 5
三弥井研究叢書	古琉球をめぐる文学言説と資料学	15,000	小峯和明	A 5
三弥井研究叢書	中世鷹書の文化伝承	7,500	二本松泰子	A 5
三弥井研究叢書	園城寺蔵 智証大師自筆文字史資料集	8,500	園城寺	A 5
三弥井研究叢書	『曾禰好忠集』注解	13,000	金子英世	A 5
三弥井研究叢書	集団パラダイムにおける昔話の意味世界と心理機能	7,400	廣瀬清人	A 5
三弥井研究叢書	中世〈知〉の再生	9,500	服部幸造	A 5
三弥井研究叢書	室町戦国期の公家社会と文事	8,400	伊藤慎吾	A 5
三弥井研究叢書	東日本貞任伝説の生成史	7,600	阿部幹男	A 5
三弥井研究叢書	室町物語研究	8,400	沢井耐三	A 5
三弥井研究叢書	江戸期視覚文化の創造と歴史的展開	6,800	板垣俊一	A 5
三弥井研究叢書	薫集類抄の研究	9,500	田中圭子	A 5
三弥井研究叢書	中世衆庶の文芸文化	9,500	大島由紀夫	A 5
三弥井研究叢書	室町物語と古俳諧	10,000	沢井耐三	A 5
三弥井研究叢書	藤原俊成	6,400	山本一	A 5
三弥井研究叢書	昔話から御伽草子へ	5,500	福田晃	A 5
三弥井研究叢書	源平盛衰記年表	7,700	松尾葦江	A 5
三弥井研究叢書	説話と俳諧連歌の室町	8,500	小林幸本	A 5
三弥井研究叢書	古代日本神話と水上交流	8,600	堂野前彰子	A 5
三弥井研究叢書	安居院作『神道集』の成立	8,300	福田晃	A 5
三弥井研究叢書	中世物語資料と近世社会	8,800	伊藤慎吾	A 5
三弥井研究叢書	早歌の継承と伝流	7,600	岡田三津子	A 5
三弥井研究叢書	大正期の言論誌に見る外来語の研究	8,900	石井久美子	A 5
三弥井研究叢書	鷹書と鷹術流派の系譜	8,990	二本松泰子	A 5

	花儿会と歌垣	7,900	板垣俊一	A 5
	伊勢物語	4,500	大井田晴彦	A 5
	在外絵入り本	13,800	山下則子	B 5
	室町物語の形象	8,800	沢井耐三	A 5
	中国神話の深層	4,500	百田弥栄子	A 5
	絵解く 戦国の芸能と絵画	3,500	小林健二	B 5
	伝承の語り手から現代の語り手へ	2,700	黄地百合子	A 5
	日本幽霊画紀行	2,800	堤 邦彦	A 5
	美術でよむ中世ヨーロッパの聖人と英雄の伝説	2,800	高木昌史	A 5
三弥井民俗選書	琉球神話と古代ヤマト文学	2,800	永藤靖	46
三弥井民俗選書	歌碑が語る西行	2,800	岡田隆	46
三弥井民俗選書	遠野の民話と語り部	2,300	石井正己	46
三弥井民俗選書	民俗信仰の神々	2,800	大島建彦	46
三弥井民俗選書	東北の地獄絵	2,800	錦仁	46
三弥井民俗選書	憑霊の民俗	2,800	川島秀一	46
三弥井民俗選書	東北の田村語り	2,800	阿部幹男	46
三弥井民俗選書	漂泊する神と人	2,800	花部英雄	46
三弥井民俗選書	昔話と呪歌	2,800	花部英雄	46
三弥井民俗選書	日本神話と風土記の時空	2,800	永藤靖	46
三弥井民俗選書	江戸の高僧伝説	2,800	堤邦彦	46
三弥井民俗選書	疫神と福神	2,800	大島建彦	46
三弥井民俗選書	柳田国男の見た菅江真澄	2,800	石井正己	46
三弥井民俗選書	伝承怪異譚	2,800	田中榮一	46
三弥井民俗選書	民俗伝承の現在	2,800	大島建彦	46
三弥井民俗選書	魚を狩る民俗	2,800	川島秀一	46
三弥井民俗選書	沖縄の伝承遺産を拓く	2,800	福田晃	46
三弥井民俗選書	十方庵の遊歴と民俗	2,800	大島建彦	46
三弥井民俗選書	まじないの文化誌	2,800	花部英雄	46
三弥井民俗選書	人生のハレとケ	2,800	大島建彦	46
三弥井民俗選書	描かれる地獄 語られる地獄	2,800	田村正彦	46
三弥井民俗選書	北陸の民俗伝承	2,500	松本孝三	46
三弥井民俗選書	災厄と信仰	2,300	大島建彦	46
三弥井民俗選書	西行と伊勢の白大夫	3,000	小林幸夫	46
三弥井民俗選書	鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼	3,000	小林幸夫	46
世界民間文芸叢書	イタリアの昔話	2,233	剣持弘子	46
世界民間文芸叢書	世界の愚か村話	1,941	日本民話の会	46
世界のお話	世界の妖怪たち	2,300	日本民話の会	46
世界のお話	世界の魔女と幽霊	2,300	日本民話の会	46
世界のお話	世界の運命と予言の民話	2,300	日本民話の会	46
世界のお話	世界の犬の民話	2,300	日本民話の会	46
世界のお話	世界の猫の民話	2,300	日本民話の会	46
世界のお話	中国民話の旅	2,500	中国民間故事調査会	46
世界のお話	シベリア神話の旅	2,500	齋藤君子	46
世界のお話	新装改定版 世界の太陽と月と星の民話	2,800	日本民話の会	46
世界のお話	アイルランド	2,500	渡辺洋子	46
世界のお話	世界の水の民話	2,300	日本民話の会	46
	書き込み式日本語表現法	1,600	学日本語表現研究会	B 5
	書き込み式日本語表現ノート	1,200	学日本語表現研究会	B 5
三弥井古典文庫	平家物語(上)	2,500	佐伯真一	四六
三弥井古典文庫	平家物語(下)	2,800	佐伯真一	四六
三弥井古典文庫	おくのほそ道	1,600	鈴木健一	四六
三弥井古典文庫	南総里見八犬伝 名場面集	2,100	湯浅佳子	四六
三弥井古典文庫	西鶴諸国はなし	1,800	西鶴研究会	四六
三弥井古典文庫	雨月物語	1,800	田中康二	四六
三弥井古典文庫	春雨物語	1,800	井上泰至	四六
三弥井古典文庫	芭蕉・蕪村 春夏秋冬を詠む 春夏編	1,800	深沢眞二	四六
三弥井古典文庫	芭蕉・蕪村 春夏秋冬を詠む 秋冬編	1,800	深沢眞二	四六
三弥井古典文庫	御伽百物語	2,000	藤川雅恵	四六
三弥井古典文庫	武家義理物語	1,900	井上泰至	四六
室町物語影印叢巻 1	一本菊	850	石川透	A 5
室町物語影印叢巻 2	善光寺如来縁起	1,600	石川透	A 5

室町物語影印叢刊 3	磯崎	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 4	酒吞童子伊吹山系	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 5	狭衣の草子	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 6	熊野の本地	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 7	鉢かづき	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 8	七草草紙	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 9	岩屋の草子	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 10	弁慶物語	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 11	松竹物語	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 12	諏訪の本地	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 13	住吉物語	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 14	大仏の御縁起	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 15	花鳥風月	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 16	文正草子	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 17	釈迦の本地	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 18	玉水	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 19	しぐれ	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 20	観音の本地	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 21	二十四孝	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 22	蓬萊山	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 23	蛤の草紙	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 24	天狗の内裏	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 25	天照大神本地	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 26	富士の人穴草子	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 27	物くさ太郎	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 28	庚申の本地	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 29	虫の歌合	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 30	中将姫	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 31	小式部	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 32	四十二の物あらそひ	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 33	酒吞童子大江山系	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 34	判官都話	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 35	猿源氏草紙	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 36	浦島太郎	900	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 37	高砂	900	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 38	小町の草紙	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 39	さざれいし	900	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 40	真野の長者物語	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 41	草笛草紙	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 42	七夕	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 43	若緑	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 44	和泉式部	850	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 45	秋月物語	2,000	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 46	張良	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 47	嚴島の本地	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 48	西行物語	900	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 49	法妙童子	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 50	十本扇	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 51	若草物語	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 52	狐の草子	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 53	火桶の草子	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 54	胡蝶物語	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 55	もりなが	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 56	酒飯論	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 57	恵心僧都物語	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 58	三島大明神縁起	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 59	祇園疫神蘇民将来御縁起	1,200	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 60	千草仲直り 他	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 61	長谷雄草紙	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 62	天稚彦草子	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊 63	蚕養の由来	1,400	石川透	A 5

室町物語影印叢刊64	鶴亀物語	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊65	落窪の草子	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊66	北野縁起	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊67	八幡御縁起	1,400	石川透	A 5
室町物語影印叢刊68	浄瑠璃物語	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊69	鶴亀の草子	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊70	御茶物語	1,600	石川透	A 5
室町物語影印叢刊71	角田川物語	1,600	石川透	A 5
	水と火の伝承	1,400	桂芳久	四六
	源氏物語の変奏曲 江戸の調べ	2,800	鈴木健一	A 5
	柳田国男と遠野物語	2,500	石井正己	四六
	柳田国男の遠野紀行	1,300	高柳俊郎	四六
	山陰のわらべ歌	1,800	酒井董美	A 5
	日本語文末詞の歴史的研究	8,800	佐々木綾	A 5
	日本語における文末詞の存立	7,500	藤原与一	A 5
	万葉歌生成論	8,476	松下厚	A 5
	法華験記の世界	2,000	永藤靖	A 5
	海王宮 一壇之浦と平家物語	8,900	松尾葦江	A 5
	雛の吊るし飾り	1,800	山崎祐子	A 5
	魅力の奈良絵本・絵巻	2,800	石川透	A 5
	増基法師「いほぬし」注解	8,500	林壽彦	A 5
	日本語上手。	1,500		A 5
	グリム童話と近代メルヘン	2,700	竹原威滋	A 5
	行巻編「塙 鈔」の研究	6,800	小助川元太	A 5
	ふしぎ発見!日本語文法	1,600		A 5
	民話-伝承の現実	2,800	大島廣志	A 5
	民間説話〈伝承〉の研究	8,800	松本孝三	A 5
	ロシアの神話	9,800	佐野洋子	A 5
	島根の民謡	2,300	酒井董美	A 5
	語りの講座 昔話への誘い	2,500	花部英雄	A 5
	語りの講座 昔話を知る	2,500	花部英雄	A 5
	語りの講座 昔話の声とことば	2,500	花部英雄	A 5
	語りの講座 昔話入門	2,500	花部英雄	A 5
	語りの講座 伝承の創造力	2,800	花部英雄	A 5
	奈良伝説探訪	2,300	丸山顕徳	A 5
	いくさの歴史と文字文化	2,500	遠山一郎	四六
	いくさの物語と諸 の文学史	2,500	中根千絵	四六
	日本近代文学と戦争	2,500	山口俊雄	四六
	連歌入門	1,980	廣木一人	四六
伝承文学比較双書	鉄文化を拓く 炭焼長者	4,500	福田晃	A 5
伝承文学比較双書	歌の起源を探る 歌垣	3,300	真下厚	A 5
伝承文学比較双書	古事記の起源を探る 創世神話	2,800	工藤隆	A 5
伝承文学比較双書	鷹と鍛冶の文化を拓く 百合若大臣	4,500	福田晃	A 5
伝承文学比較双書	英雄叙事詩 アイヌ・日本からユーラシアへ	3,500	荻原真子・福田晃	A 6
	聖なる声 和歌にひそむ力	3,000	阿部泰郎	A 5
	日本の書と紙	2,800	石澤一志	A 5
	保元・平治物語絵巻をよむ	1,800	石川透	B 5
	源平盛衰記絵本をよむ	2,800	石川透	B 5
	舞の本をよむ	2,800	石川透	B 5
	日本民族の源流を探る	2,200	ライナー・ヨーゼフ	A 5
	北村透谷詩 読解	4,800	桑原敬治	A 5
	観想 平家物語	8,500	美濃部重克	A 5
	占の文化誌	2,000	棚木恵子	四六
シリーズ日本の旅人	連歌師という旅人	2,800	廣木一人	四六
シリーズ日本の旅人	宣教使 堀秀成	3,500	錦仁	四六
シリーズ日本の旅人	孝子を訪ねる旅	2,800	勝又基	四六
	古代研究の新地平	2,500	工藤隆	四六
	山陰のわらべ歌・民話文化論	8,900	酒井董美	A 5
	神話と自然宗教	2,800	岡部隆志	四六
	日本神話の男と女	3,000	堂野前彰子	A 4
	源氏物語の展望(一)～(九)	各6800	森一郎	A 5

源氏物語の展望(十)完結！	7,500	森一郎	A 5
子どもに昔話を！	1,700	石井正己	A 5
昔話を語る女性たち	1,700	石井正己	A 5
昔話と絵本	1,700	石井正己	A 5
昔話を愛する人々へ	1,700	石井正己	A 5
昔話にまなぶ環境	1,700	石井正己	A 5
児童文学と昔話	1,700	石井正己	A 5
震災と語り	1,700	石井正己	A 5
子守唄と民話	1,700	石井正己	A 5
震災と民話	1,700	石井正己	A 5
昔話を語り継ぎたい人へ	1,700	石井正己	A 5
現代に生きる妖怪たち	1,700	石井正己	A 5
世界の教科書に見る昔話	1,700	石井正己	A 5
復興と民話	1,700	石井正己	A 5
ヒト・モノ・コトバ 明治からの文化誌	2,000	橋詰静子	四六
アイヌ文化への招待	3,800	荻中美枝	A 5
民間説話〈伝承〉の研究	8,800	松本孝三	A 5
音声表現思想史の基礎的研究	8,500	清水真澄	A 5
伝承の「場」を歩く	3,300	須田悦生	A 5
国家と大衆芸能	7,500	安田宗生	A 5
悪魔には2本蠟燭を立てよ	2,300	斎藤君子	四六
真言系唱導説話の研究	8,000	藤井佐美	A 5
広がる奈良絵本・絵巻	2,800	石川透	A 5
民俗学と現代 批評の宝石たち	1,980	石井正己	四六
遠野物語と21世紀 近代日本への挑戦	2,500	石井正己	A 5
遠野物語と21世紀 東北日本の古層へ	2,500	石井正己	A 5
国際化時代と『遠野物語』	2,500	石井正己	A 5
『遠野物語』へのご招待	1,900	石井正己	四六
昔話と観光	2,500	石井正己	四六
雪国の女語り 佐藤ミヨキの昔話世界	7,500	花部英雄	A 5
テクストとしての柳田国男	4,500	石井正己	A 5
鳥獣虫魚の文学史 1 獣の巻	2,800	鈴木健一	A 5
鳥獣虫魚の文学史 2 鳥の巻	2,800	鈴木健一	A 5
鳥獣虫魚の文学史 3 虫の巻	2,800	鈴木健一	A 5
鳥獣虫魚の文学史 4 魚の巻	2,800	鈴木健一	A 5
天空の文学史 太陽・月・星	2,800	鈴木健一	A 5
天空の文学史 雲・雪・風・雨	2,800	鈴木健一	A 5
海の文学史	2,800	鈴木健一	A 5
浜辺の文学史	2,800	鈴木健一	A 5
東海道五十三次をよむ	2,800	鈴木健一	A 5
絵が物語る日本	3,000	国文学研究資料館	A 5
田中英光事典	10,000	橋詰静子	A 5
軍記物語 戦人と環境	8,500	石井由紀夫	A 5
烈女伝	1,800	榊原千鶴	A 6
異界百夜語り	1,800	堤邦彦	A 5
シルクロードをつなぐ昔話 中国のグリム童話	2,800	百田弥栄子	四六
法隆寺コード	2,000	野田正治	四六
西鶴 闇への凝視	4,000	有働裕	A 6
全文読破 柳田国男の遠野物語	1,800	石井正己	四六
空町の権力と連歌師宗祇	2,800	廣木一人	四六
諏訪信仰の中世	4,800	二本松康宏	A 5
天台宗恵檀両流の僧と唱導	9,800	松田宣史	A 5
グリム童話と日本昔話	2,800	高木昌史	四六
全文読破 柳田国男の先祖の話	2,500	石井正己	四六
北村透谷 解説と論究	3,500	佐藤善也	A 5
大和の歴史と伝説を訪ねて	2,300	丸山顕徳	A 5
御伽草子・本地物語と韓国説話	5,500	金賛会	A 5
熊野からケルトの島へ	2,000	桐村英一郎	A 5
東洋文庫 絵本コレクション 第二刷	9,800	東洋文庫	B 5
放鷹文化と社寺縁起	8,500	福田晃	A 5
国境を越える民俗学	2,800	石井正己	A 5

	ことばの風景	2,700	橋詰静子	四六
	文学海を渡る	3,200	西村聡	A 5
	甲賀忍者軍団と真田幸村の原像	1,700	福田晃	四六
	絵巻で読む源氏物語	2,000	龍澤彩	B 5
	みさくぼの伝説と昔話	1,000	二本松康宏	A 5
	決定版 グリム童話事典	3,800	高木昌史	A 5
	見え始めた終末	2,000	川村晃生	四六
	こえのことばの現在	2,800	日本口承文芸学会	A 5
	昔話の読み方伝え方を考える	2,800	石井正己	四六
	擬人化と異類合戦の文芸史	2,800	伊藤慎吾	A 5
	愛知で知る読む日本文学史15講	1,800	森田貴之	四六
	歌を掛け合う人々	2,500	真下厚	四六
	生と死と祈りの美術	5,800	細田あや子	A 5
	神仏に抱かれた作家 中勘助	3,000	木内英実	A 5
	俗化する宗教表象と明治時代	2,800	堤邦彦	A 5
	百人一首宗祇抄	1,200	小川剛生	A 5
	ジオパークと伝説	2,300	花部英雄	四六
	聖書と西洋美術	2,800	高木昌史	B 5
	瓜子姫の死と生	3,500	藤井倫明	A 5
	諏訪信仰の歴史と伝承	2,800	二本松康宏	A 5
	ギリシア・ローマ神話と西洋美術	2,800	高木昌史	B 5
	イソップ絵本はどこからきたのか	3,000	三宅興子・高岡厚子	B 5
	恋する赤い糸	2,500	伊藤龍平・陳 如	A 5
	怪人熊楠、妖怪を語る	2,300	倉義之・広川英一郎	B 5
	皇后になるということ	2,300	榊原千鶴	四六
	現人神となる神事	2,500	丸山顕誠	四六
	現代に共鳴する昔話	2,800	石井正己	A 5
	社会情報の現場から	1,800	目白大学	A 5
	春野の昔話と伝説	1,000	二本松康宏	A 5
	妖精の棲む島 アイルランド	2,700	渡辺洋子	四六
	高畑勲をよむ	2,800	中丸禎子 他	A 5
	伝承の語り手から現代の語り手へ	2,700	黄地百合子	A 5
	日本幽霊画紀行	2,800	堤邦彦	A 5
	美術でよむ中世ヨーロッパの聖人と英雄の伝説	2,800	高木昌史	A 5
	昔物語治聞集	2,700	中根千絵・他	A 5
	共振する異界	2,500	永藤靖	四六
唱導文学研究	唱導文学研究 第一集	7,670	福田晃	A 5
唱導文学研究	唱導文学研究 第二～十二集	8,500	福田晃	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第一巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第二巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第三巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第四巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第五巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第六巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第七巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 第八巻	8,500	奥田勲	A 5
新撰菟玖波集全釈	新撰菟玖波集全釈 別巻	8,800	奥田勲	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 第十巻	7,200	佐々木孝浩	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 第十五巻	7,200	鈴木健一	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 第四巻	7,200	川村晃生	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 第五巻	7,200	川村晃生	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 第十一巻	7,200	川村晃生	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 別巻二	8,500	本間洋一	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 十二巻	7,200	深津睦夫	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 十六巻	7,200	久保田啓一	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 十四巻	7,200	日下幸男	A 5
歌論歌学集成	歌論歌学集成 七巻	7,200	渡部康明	A 5
伝承文学注釈叢書1	予章記	8,500	佐伯真一	A 5
伝承文学注釈叢書2	豊後節系浄瑠璃集	7,500	安田文吉・安田徳子	A 5
伝承文学注釈叢書3	大和言葉集	7,500	徳田和天他	A 5